

令和5年度 川岸公民館 いちい学級 「市議会を見学して、議員さんと語ろう」

令和5年9月20日（水）

2班 懇談会記録

出席議員：早出すみ子議員（進行）、藤森 弘議員（記録）、今井康善議長

いちい学級参加者：5名

新しい市長に期待すること

- ・岡谷の駅前に廃墟がずっとあるのは好ましくない。早く何とかしてほしい。
- ・駅前が侘しい。市営の立体駐車場は運転しづらく、平面駐車場がほしい。
- ・ララオカヤ跡地をどうするのか、議員同士で良く話し合ってもらいたい。
- ・市外から人を呼べる施設であってほしい。
- ・・・など、JR 岡谷駅周辺の再開発に関する質問や意見が相次いだ。

これに対し、今井議長が現状を説明。全地権者との話し合いが済み、近々権利が市に一本化される見通しが立ったところ。ただ、解体費用に約7億円、それに先立ちアスベスト除去が必要で、その費用が約8億円。合計で15億円もかかるため準備に時間がかかる。また、駅南口の区画整理用地は、これまで生涯学習など文化施設の建設案や特別養護老人施設の建設計画などがあったが、いずれも白紙になって現在に至っている、との説明があった。

参加者からは、「早く具体的な構想を練ってほしい」との要望があった。

議員定数について

春の市議会議員選挙の定数割れについても質問や意見が相次いだ。

- ・人口が6万人から4万人に減っているのに、議員定数は今のままでいいのか。
- ・議員1名が欠けたからといって、補充する再選挙は必要なかったのではないか。
- ・議員のなり手不足だと言われるが、議員の立場ではどう考えているのか。

これらに対して、今井議長から選挙の手続きは条例で決まっていることを説明。

また、藤森議員が当時の状況を回顧。①70歳ぐらいの現職議員5人が選挙1カ月前の事前説明会時点でまとまって引退することが初めて公になった。②社民党推薦の女性議員も同時に引退を表明した。③市長選に立候補するかどうか態度を表明していなかった2名の議員が事前説明会に出席せず市議選不出馬の見込みであることが初めて公になった。④コロナ下で区の行事が制限され、現職の進退が地元には伝わらず後継者擁立の動きが封じられる異常事態だった。⑤定年延長で60歳前後の立候補者が少なくなった。⑥議員報酬が低く、選挙公営も未整備で、若い人が手を上げづらい待遇になっている・・・ことなどを説明。選挙1カ月前に定数の半分の9名の現職が突然不出馬になり、新人が出るには準備期間があまりにも短かく、非常に特殊な状況が重なった実情を伝えて理解を得た。

その他、大雨の際に家屋への浸水で悩んでいるとの個別相談があり、区を通じた土木陳情の方法、区議会議員、区長、市議会議員などを窓口とした相談方法を伝え、ひとりで悩まず相談してほしい、とお願いした。